

Happy Life

- うさぎさんと幸せな毎日のために。 -



日本ラビットホッピング協会 JRHA Japan Rabbit Hopping Association

JRHA は、ラビットホッピングの普及と人々がうさぎとの交流によって動物愛護精神をはぐくみ育てることを目的とします。また、ラビットホッピングを通してうさぎの可能性を伸ばし、うさぎと人の新しい信赖関係を構築していきます。JRHA は、これらの目的を達成するためラビットホッピング競技会の開催、ラビットホッピング講習会等のイベント運営やその他目的を達成する為の必要な事業を行います。



ラビットホッピング Rabbit Hopping

ラビットホッピングは、1970 年代初頭スウェーデンで始まったうさぎと人がチームになって行う障害物ジャンプ競技です。その競技様式は、ミニチュアホースの障害飛越競技に従って作られた後にうさぎに合った競技様式に変更されました。1987 年初めての国際大会がスウェーデンのストックホルムで開催され、その後ノルウェーやドイツ、デンマーク等のヨーロッパ各国に広まっていきました。現在、スウェーデン、ノルウェー、デンマーク、フィンランド、ドイツ、イギリス、カナダ、オーストラリアでラビットホッピングクラブが設立され活動しています。アメリカには、2001 年に紹介され 2012 年 ARBA (American Rabbit Breeders Association) 公認のクラブとして American Hopping Association for Rabbits and Cavies (AHARC) が設立されました。日本では、2014 年 11 月うさぎのしっぽ主催のうさフェスタに於いて初めてのエキシビションが開催されました。2015 年 4 月 JRHA が正式に設立されました。

• • • • Let's try Rabbit Hopping!

あなたも会員になって、うさちゃんの可能性を感じながら、ラビットホッピングを楽しめませんか? お申し込みは、下の QR コードをスキャンするか、公式ホームページからどうぞ!

会員特典

- 2015年、2016年の年会費が無料。
- ラビットホッピング協会が主催する練習会、講習会を優先してご予約が可能。
- ラビットホッピング協会の情報のメール送信



Selecting a Good Rabbit for Hopping どんなうさぎが競技に参加できるか?

年 齢

関節や骨格の成長が十分に育ち終えた年齢のうさぎ
 小型品種：生後4ヶ月以上
 大型品種(成長したとき体重5kg以上のうさぎ)：生後8ヶ月以上
 けが防止の為、原則5歳位迄参加可能

性 格

活発でフレンドリー、好奇心旺盛なうさぎ
 猫い主を信頼し、社会性の備わったうさぎ

健康状態

全てにおいて健康なうさぎ
 肥満しているうさぎは、足腰に負担が大きいため適さない
 妊娠中や授乳中のうさぎでないこと
 出産後8週間以上たって授乳が終了していること
 いかなる手術をした場合でも十分に健康を回復していること

品 種

ミックスや純血品種を問わず全てのうさぎが参加可能

ARBA(American Rabbit Breeders Association)では、2015年現在48種類の公認品種があります。必ずしも全ての品種がラビットホッピングに適した品種である訳ではありません。ここでは、ARBAの公認品種を例にあげ競技に対する適性を説明します。

- イングリッシュロップの非常に長い耳は、ジャンプの妨げになります。また長い骨骼を持つ身体は怪我の可能性が高くなります。
- フレミッシュジャイアント、ジャイアントチンチラ等の巨大品種は、体重が重い為、立ち上がってジャンプすると身体に大きな負担がかかります。
- ヒマラヤンは、非常に長い身体をしているため背骨や腰に負担が掛かります。低いジャンプで競技を行うことが望まれます。
- アンゴラ各品種やその他長毛種は、長い毛がハーネスや障害物に引っかかったりする可能性があります。またその毛量が非常に豊かなためハーネスが正しく装着できない可能性や高温多湿の状況では体温が上がりすぎてしまう事があります。その為、競技に参加する時には、毛をカットして短くする事が望されます。
- ベルジアンヘアは、しなやかで俊敏性に富むからだをしていますが、非常に長く細い骨の前脚をしているため高いハードルを跳ばせることはさけるべきです。
- ラビットホッピングに適している純血品種の例

● アメリканセーブル	● シナモン	● フロリダホワイト	● ライラック	● レッキス
● ブリタニアペティート	● ダッチ	● パークイーン	● ミニレッキス	● ラインランダー
● チェンカーデジャイアント	● ドワーフホット	● ハーフ	● ネザーランドドワーフ	
● スタンダードチンチラ	● イングリッシュスポット	● ホーランドロップ	● ポーリッシュ	

Training your Rabbit Part1 クリッカートレーニングから始めましょう!

■ トレーニングをする前に

ラビットホッピングを練習する前に、うさぎと飼い主との間に強い絆と信赖関係が築かれていることが必要です。この絆は、多くの時間を一緒に過ごすことで作ることが出来ます。うさぎはこの時間を通してあなたをハンドラーとして信頼していきます。

■ クリッカートレーニング

クリッカーとは、カッチと音をならし、動物のしつけを行う道具です。まずは、ラビットホッピングをすることが「良いこと」、「楽しいこと」を学べるクリッカートレーニングから始めましょう。クリッカーの先にターゲット(ボール状の物)が付いたクリックスティックでトレーニングします。

チャージング

『クリッカーの音=おやつ(嬉しいこと)』を結びつけること

クリッカーは、単に音を出す道具です。クリッckerを鳴らすたびにおやつを与えます。クリッckerの音が鳴るとおやつがもらえる事をうさぎ自身が認識するまで続けます。うさぎが「クリッckerの音=おやつ」を確実に認識したら次のトレーニングに移ります。



シェーピング

『やって欲しい目標に近づけること』

クリックスティックのターゲットをうさぎの近くに置いて、うさぎが興味を持って近づいたらクリッckerを鳴らしあやつを与えます。これを繰り返し、うさぎがターゲットに鼻をタッチしたらクリッckerを鳴らしあやつを与えます。鼻をタッチするためにターゲットについてくるようになるまでトレーニングします。



ラビットホッピングへの応用

床にラビットホッピングで使用するハードルのバーを置きます。クリックスティックのターゲットをバーを挟んでうさぎの反対側に置きます。うさぎがターゲットにタッチするためにバーを越している時にクリッckerを鳴らしておやつをあげます。これが出来たらバーの高さを上げます。徐々にバーの高さを上げて繰り返しトレーニングします。次にホッピングのハードルを複数置きトレーニングをします。



Training your Rabbit Part2

クリッカーを使わないトレーニング!

■ 安全に行うために!

トレーニングは、最初の1週間は10~15分間を1日1回、その後20分程度を1日2回で繰り返し行なうことが大切です。

ハーネスの接着

練習と競技には、外れにくい“Hスタイルハーネス”を使用します。うさぎがハーネスに充分慣れてから練習をはじめます。

外れやすいハーネス、うさぎの首がしまるようなハーネスは、危険なので使用してはいけません。



Hスタイルハーネス

■ 真っ直ぐ歩く練習から始めよう!

グランドワーク

…まっすぐ歩く…

うさぎがハーネスとリードを付けて怖がらずまっすぐ歩くようにするトレーニングです。絨毯の上や滑りにくい素材の上でハーネスを付け歩く練習をします。ハンドラーは、リードを軽く握りうさぎの後を歩きます。うさぎは、必ずハンドラーの前を歩くようにします。もしもうさぎが立ち止まってしまった場合、うさぎのしっぽに触ったり腰の部分を軽く押したりして動くことを促します。決して足で押したりしてはいけません。グランドワークで最も大切なことは、うさぎがまっすぐ歩くようにトレーニングすることです。

しかし、うさぎは本来まっすぐに走ることはなくジグザグに走る習性があるので、次のようにトレーニングを進めることが有効です。もしもうさぎがハンドラーの左に進もうとしたらリードを軽く右側に引きます。するとうさぎは右に向かって進もうとします。この逆に右に来た場合、リードを左に軽く引くと左に向かってきます。この方向の修正を繰り返しすることできつすぐに走らせることができます。また、うさぎがリターンしたり逆戻りしたりしないように教えることもまっすぐ走らせるには大切です。



ハーネスをして歩く

…バーを越える…

うさぎがまっすぐ歩けるようになったら、次は床に置いたバーを歩いて超えるトレーニングをします。バーを歩いて越えることが出来たら、おやつを与えてほめてあげましょう。うさぎはバーを越えたらいいことがあると覚えます。そして、意識してバーを越えることができるようになります。



床に置いたバーを歩いて越える

…バーを越えるイメージを持たせる…

うさぎがバーの前で立ち止まり越えることを嫌がった時には、うさぎを両手で優しく抱き上げバーを跳び越えさせます。決してリードを引き上げハーネスでうさぎを持ち上げることはしてはいけません。このようにうさぎを抱き上げてバーを跳び越えさせることを何度もくりかえすことで、うさぎはバーを自分で跳び越えることを理解します。このトレーニングをする時、「ジャンプ」や「跳んで」などの言葉を付けて教えるとうさぎは、これらの言葉をハンドラーが跳んでほしいと思っていることだと理解します。

うさぎは、このように跳び越えることのイメージが出来ると、自分から跳んでみようします。その意欲が見えてきたらいよいよハードルを設置してジャンプの挑戦に進みます。



うさぎを抱いてバーを越えさせる

■ ジャンプに挑戦しよう!

ジャンプ

グランドワークができるようになった頃には、うさぎは自分で前に向かってまっすぐ歩くことができるようになっていっていると思います。では、いよいよジャンプを教えていきましょう。

…はじめてのジャンプ…

最初に用意するハードルは、高さ 15cm、1 段目の位置にバーをセットします。最初からこれ以上高いジャンプをさせるのは危険です。この高さのジャンプが完全にできるようにならたら、もう 2 つ同じ高さのハードルを用意します。うさぎは、これらを越えるために連続してジャンプする必要があることを学びます。



…バーを跳ぶイメージを持たせる…

うさぎがハードルの手前で止まってしまった場合、ハンドラーはうさぎを両手で持ち上げバーを越えて優しく着地させます。ハンドラーは、うさぎが自分でバーを越えることができると理解するまで何回か繰り返します。その時に「ジャンプ」等と言って、うさぎにその言葉を言ったら跳ぶようにトレーニングします。

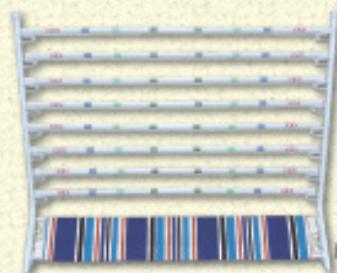


Equipment

用品

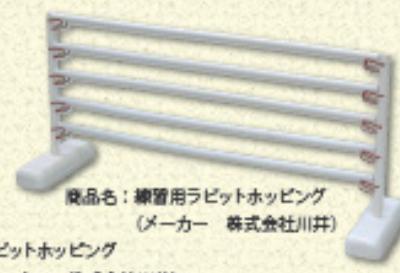
●公式競技ハードル

公式用スタンドとバーのセット。高さ 15cm から 5cm 間隔で上げることができます。幅 65cm、最大高さは 55cm です。



●練習用ハードル

練習スタンドとバーのセット。高さ 10 cm から 5 cm 間隔で上げることができます。幅 65cm、最大高さは、30cm です。



商品名：練習用ラビットホッピング
(メーカー 株式会社川井)
商品名：ラビットホッピング
(メーカー 株式会社川井)

…2段目のジャンプ…

15cm の高さのハードルができるようになったら、次は 20cm(2段目)に挑戦します。この時も低いハードルでウォーミングアップしておくことを忘れないでください。ハードルの手前で止まってしまった場合には、1段目の時と同様に両手でうさぎを優しく抱き上げて、バーを跳び越えさせてあげましょう。うさぎに高さのイメージを教えてあげてください。



…連続ジャンプ…

20cm のハードルが完全に出来るようになったら今度は 25cm に挑戦していきます。その後ハードルの数を増やし、競技会で定められているハードルの数(10~14)を連続でジャンプできる様にトレーニングしていきます。連続ジャンプでは、うさぎが先に走ってしまないように、ハンドラーはうさぎの動作をよく見て、うさぎと同じ速さで一緒に走りましょう。



●Hスタイルハーネス&リード

約 120~180cm の長さのリード付きハーネス。



Hスタイルハーネス&リードは、外れにくく、うさぎの脇部分にリード付けるため、首を絞める事もなく、うさぎに負担が少ないハーネスです。

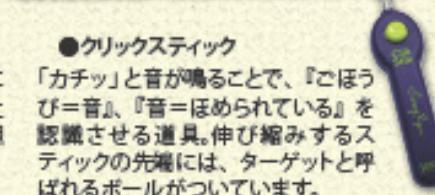
●マット

うさぎが着地する時に衝撃を吸収し滑らないようにするために敷くマット。



●クリックスティック

「カチッ」と音が鳴ることで、「ごほうび=音」、「音=ほめられている」を認識させる道具。伸び縮みするスティックの先端には、ターゲットと呼ばれるボールがついています。



取扱いショップ：うさぎのしっぽ www.rabbittail.com

Competition

どのように競技が行われるか

競技は、うさぎ1匹とハンドラー1人のチームで行われます。用意されたコースのスタートハードルからフィニッシュハードルまでハンドラーとリードで結ばれたうさぎがジャンプし駆け抜けゴールします。その時の得点を競い合います。詳細は、P11 の得点方法 (Scoring) を参照してください。

- 1 ジャッジは、競技開始前に全ての器具の安全を確認します。安全でない器具があった場合は、修理もしくは交換します。
- 2 ウォームアップエリアでは、競技前スタッフの管理のもと練習することができます。ここでは、うさぎにおやつを与えてはいけません。
- 3 スチュワードは、スタート前のうさぎとハンドラーが同一チームかを確認します。
- 4 競技に参加するうさぎは、1コースにつき必ず1匹でなくてはいけません。
- 5 ハンドラーは、ハードルをまたいだり跳び越したりしてはいけません。必ずハードルの左か右のどちらかを進まなくてはいけません。
- 6 スタート&フィニッシュハードルは、バーの高さを15cm以下にし、必ずコースの始まりと終わりに設置しなければなりません。そしてうさぎは、必ずハードルを跳び越さなければなりません。但しこれらの2つのハードルはバーを落としてもスコアには反映されず失点にはなりません。
- 7 ハードルは手前から順番に跳ばなければなりません。逆方向に進んだ場合ハードルを跳び越え全ての脚が着地した時点で1失点となります。但しスタートハードルを逆に跳び越えた場合には、失点にはなりません。
- 8 タイマーは、うさぎがフィニッシュハードルを跳び越し、全ての脚が着地した時ストップウォッチを止めタイムをスコアカードに書き込みます。
- 9 ランナーは、スコアカードをスコアキーパーに渡しスコアシートに記録します。
- 10 コースを完走するまでの制限時間は、3分以内でそれを超えた場合は失格になります。
- 11 レイルセッターは、競技終了後落ちたバーと同じ位置に置き直し次の競技の準備をします。
- 12 ジャッジに何度も同じことを注意された場合は、失格になります。
- 13 競技中ハンドラーは、常にリードから手を離してはいけません。また、待機中うさぎがキャリーの中にいる場合は、必ず付き添いを付けなくてはいけません。

Class

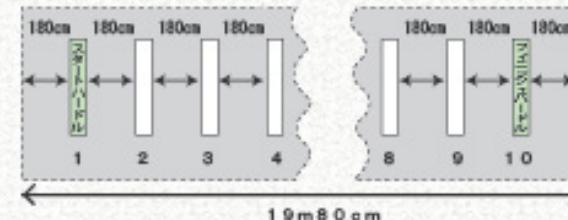
競技クラス

レベルによって2クラスに分かれています。まずは、LEVEL1(初級クラス)から、始めましょう。次のクラスに進むには、完全にジャンプを行い、失点0のクリア走行が必要になります。

LEVEL1(初級クラス)

ハードル数は、スタートハードルとフィニッシュハードル含め10個、ハードルバーの高さは、15cm～25cmまでとします。また、ハードルバーの半数は、高さ20～25cmなくてはなりません。競技中でのハードルの失敗は、6個までは失格にはなりません。ハードル間の距離は、180cm必要となります。
また、次のLEVEL2(上級クラス)へ進むには、2回のクリア走行が必要となります。
(クリア走行とは、失点0のレースのこと)

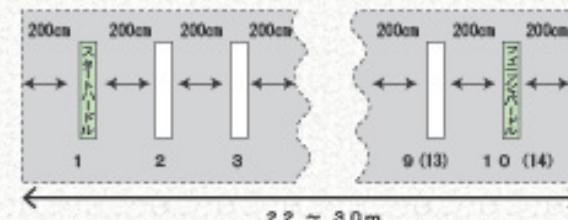
LEVEL1(初級クラス) マットの上に10個のハードルを設置します。



LEVEL2(上級クラス)

ハードル数は、スタートハードルとフィニッシュハードル含め10～14個、ハードルバーの高さは、25cm～35cmまでとします。また、ハードルバーの半数は、高さ30～35cmなくてはなりません。競技中でのハードルの失敗は、6個まで失格にはなりません。ハードル間の距離は、200cm必要となります。

LEVEL2(上級クラス) マットの上に10個～14個のハードルを設置します。

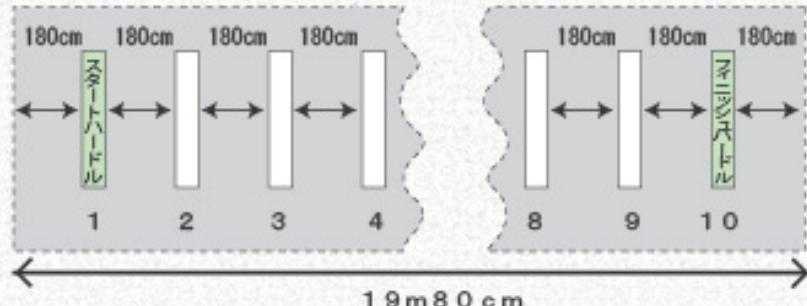


Course コース

コースは直線で、着地時の衝撃を吸収する素材が敷かれています。ハードルの数や間隔は、クラスによって違います。(クラス参照してください。)また、それぞれのコースの初めのハードルをスタートハードル、終わりのハードルをフィニッシュハードルと呼びます。

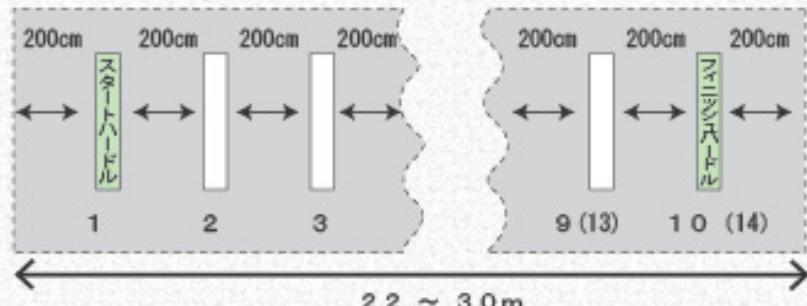
LEVEL1(初級クラス)

マットの上に10個のハードルを設置します。
(スタートハードルとフィニッシュハードルを含む)



LEVEL2(上級クラス)

マットの上に10個~14個のハードルを設置します。



マット

ハードル

Scoring 得点方法

順位決めは、次のように行います。失点の数を基に、クラス毎に順位を決めます。もし2匹のうさぎの失点数が同じ場合、タイムが速かった方が上位となります。2レースの合計タイムがスコアカードに記録され、同点の場合、再レースを行い、勝者を決定します。

失点

1. ハードルもしくはその一部を倒した場合、1つのハードルで何本のバーを倒したかに関わらず、1失点となります。
2. ハードルを飛び越えなかった場合、1つのハードルに付き1失点となります。
3. ハードルをうさぎが飛ばない場合、ハンドラーはうさぎを抱きかかえてハードルを越えさせることができますが、1つのハードルに付き1失点となります。
4. スタートミス：ジャッジがハンドラーに指示する前にうさぎがコースをスタートしてしまった場合、スタートミスとなり1失点となります。再度スタートミスがあった場合、失格となります。
5. コースアウト：うさぎが150cm以上コースの外に出てしまった場合は、1失点とみなされます。再度同じ事をした場合も1失点が加算されます。
6. タイムリミット：タイムリミットは3分とします。オーバーした場合には、うさぎの安全を考えて失格となります。

スコアカード

JRHA

番号:	クラス:	初級 / 上級	会場:	月日:				
うさぎ名:	タイム			失点				
ハンドラー名:								
	バー倒す	バーに接触する	抱きかかるる	コースアウト	逃走	フライング (立派な走り)	タイムオーバー	失点
スタートバー								
バー1								
バー2								
バー3								
バー4								
バー5								
バー6								
バー7								
バー8								
バー9								
バー10								
バー11								
バー12								
フィニッシュバー								

Rule

公式ルール

- ハンドラーは自身やその家族がマナーの悪い（破壊的）行動をとらないようにする責任があり、違反行為や暴力行為は警告の上、失格となります。
- うさぎは品種を問わず出場することができ、血統を問われることはありません。
- うさぎは最低でも生後4ヶ月以上でなければならず、3ヶ月未満のうさぎは競技に参加することは出来ません。
- うさぎは健康でいかなる病気や寄生虫の感染がないこと。不健康だとみなされたうさぎは競技エリアより直ちに退場しなければなりません。全てのうさぎの健康チェックは競技エリアに入る前に行なうことが必要です。
- 妊娠中のうさぎは参加できません。また、大会前8週間以内に子供を産んだ雌も参加禁止となります。
- ハンドラーは、競技スペースとウォーミングアップエリアに残ったうさぎのフンやごみをきれいに片付けなければなりません。
- うさぎへの乱暴な配慮に欠けた扱いは警告を受け、不適当と思われる扱いは失格になる場合があります。ただし、失格の場合は大会側に参加費などの返金の義務はありません。
- うさぎは、自発的にコースを進み、ハードルを跳ぶことが必要です。ハンドラーがコースを進むにあたり、うさぎに無理強いをさせることは禁止となります。ただし、必要があればハードルを越える際に抱き上げて飛び越えさせることができます。また、うさぎを補助したり促したりする時に、大声で叫んだり、うさぎに過度のストレスを与える様な行為をしてはなりません。うさぎを足で押したり触れたりする行為は禁止となります。
- ハンドラーとうさぎは1つのチームとして考えられます。1つの大会で、1匹のうさぎに対してハンドラーは1名（同一人物）となります。身体に障害を持つ方は、大会に向けてハンドラーを指名することも出来ます。
- ハンドラーはうさぎを前に進ませる為、もしくは罰として、リードを使ってうさぎを叩いてはいけません。また、うさぎをリードで持ち上げることもしてはいけません。
- ハンドラーは常にスポーツマンシップに則って競技に臨んでください。暴力的な行為は、注意・失格となります。また、スポーツマンシップの善し悪しの判断はジャッジにあり、ジャッジの判断は最終判断となります。
- ラビットホッピング大会のコースは、うさぎがジャンプし着地する際の衝撃を吸収出来る場所で開催する必要があります。マットやカーペットを使用します。全てのハードルのバーはうさぎがどの方向から当たっても落ちるものを使用しなければなりません。
- 全てのハードルと障害物はうさぎに無害な塗料で塗装し、ハードルのバーはしま模様に塗装するかテープでしま模様を作らなければなりません。そうすることで、うさぎが障害物の幅や高さを認識することが出来ます。
- ラビットホッピングの競技会は、室内で行われます。
- 全てのラビットホッピングの競技会において、Hスタイルハーネスとリードを着用させることが必要です。
- 安全基準を満たしていないHハーネスとリードは、大会もしくはウォームアップエリアにおいても使用することは出来ません。
- ウォームアップエリアには、最高25cmの高さのハードルを2つ用意しなければなりません。

Words

基本用語

基本用語をまとめました。言葉を覚えて円滑に競技ができるようにしましょう。

- ハンドラー：ラビットホッピング競技をうさぎと共にチームになって行う人
- チーム：参加するうさぎとハンドラー
- ハードル：スタンドとバーのセット
- スタンド：バーを乗せる器具
- バーホルダー：スタンドに5cm 間隔に付いているバーを乗せるホルダー
- バー：スタンドに乗せる60~75cmの棒
- Hスタイルハーネス：競技用ハーネス、フックを外して広げるとH型になるハーネス
- リード：Hハーネスに付ける引き綱、最低120~180cm
- スタート&フィニッシュハードル：スタートとゴールに置く高さ15cm以下のハードル
- タイマー：ゴール迄のタイムを計りスコアカードに記入する人
- ランナー：スコアカードをスコアキーパーに運ぶ人
- レイルセッター：落ちたバーを同じ位置に置き直す人
- スチュワード：スタート前にうさぎとハンドラーが同チームか確認をする人
- スコアカード：スコアキーパーがチームのスコアを書き込む用紙
- スコアキーパー：各スコアをスコアシートに記入し管理する人
- スコアシート：スコアキーパーが出場チーム全ての結果を書き込む用紙
- ホッピングクラス：LEVEL1(初級クラス)、LEVEL2(上級クラス)
- ウォームアップエリア：競技の前に練習するエリア、高さ25cm以下のハードル2台が競技コースとは別エリアに用意されている。



Rabbit Hopping Rule Book



会員募集 Let's try Rabbit Hopping!

あなたも会員になって、うさちゃんの可能性を感じながら、ラビットホッピングを楽しみませんか?お申し込みは、下のQRコードをスキャンするか、公式ホームページからどうぞ!

会員特典

- 2015年、2016年の年会費が無料。
- ラビットホッピング協会が主催する練習会、講習会を優先してご予約が可能。
- ラビットホッピング協会の情報のメール送信



日本ラビットホッピング協会 JRHA

事務局:株式会社川井 内
〒321-0968 栃木県宇都宮市中今泉4-24-22
TEL:028-660-8881/FAX:028-660-8892
本 部:うさぎのしっぽ企画室 内
〒235-0016 横浜市磯子区磯子2-20-51

www.rabbithopping.jp

ラビットホッピング 公式ルールブック

Rabbit Hopping Rule Book

Let's try
Rabbit Hopping!



日本ラビットホッピング協会

JRHA

JAPAN RABBIT HOPPING ASSOCIATION